

身体障害リハビリテーション学特論

《担当者名》坂上哲可 tsakaue@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

本研究科のディプロマポリシー「高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎」を修得することを目指す科目である。

質の高いリハビリテーションを展開できる人材となるために、身体障害リハビリテーション領域における先進的な専門知識、技術と臨床に有用な理論を学ぶ。また、日本の社会構造を要因とする今後増加する年齢層を対象者と想定した医療の地域連携を念頭においた知識、技術を深める。(後半は日本作業療法士協会専門作業療法士養成カリキュラムに対応する)特論で学んだ知識と技術を基に臨床で経験した事例の実践報告を通して、効果的かつ合理的な作業療法について学ぶ。

【学修目標】

先進的な専門知識及び技術を備え質の高いリハビリテーションを展開できる人材となるために、先進的な専門知識、技術と臨床に有用な理論を学ぶ。

1. 身体障害作業療法に必要な専門知識を説明できる。
2. 身体障害作業療法に必要な専門知識を同定できる。
3. 身体障害作業療法に必要な技術を説明できる。
4. 身体障害作業療法に必要な技術を実施できる。
5. 身体障害作業療法に必要な理論を説明できる。
6. 身体障害作業療法に必要な理論を弁別できる。
7. 専門作業療法士養成カリキュラム示された知識を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	特論の概要を説明し、一般目標に到達するために習得すべき行動目標を説明する	坂上哲可
2～15	身体障害リハビリテーション領域における知識、技術と臨床に有用な理論。	身体障害作業療法に必要な専門知識を列挙し説明できるように教授し、必要な技術の説明・実施できるように指導する。さらに作業療法に必要な理論を説明するだけでなく弁別させる。	坂上哲可

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート(50%)と討論への取り組み(50%)で評価し、ペーパーテストは課さない。

【教科書】

使用しない

【参考書】

適宜紹介する

【備考】

関連の文献等関係資料を各自事前に調査し学習すること(80分)。

講義後与えられた課題への取り組み、レポートを提出すること(80分)。

【学修の準備】

関連の文献等関係資料を各自事前に調査し学習すること(80分)。

講義後与えられた課題への取り組み、レポートを提出すること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

リハビリテーション領域における高度な知識および技術を修得し、対象者が抱える諸問題に対して、科学的根拠に基づいた質の高い臨床実践を展開できる問題解決能力を身につけているというリハビリテーション科学専攻博士前期(修士)課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

坂上哲可(作業療法士)

(2026年度・大学院 リハビリテーション科学研究科)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関における臨床経験および大学における教育・研究経験をもとに講義・指導する。